

新社会

つくば

発行：新社会つくば

TEL 029-857-1154 FAX857-1254

金子 かずお気付

kaneko@max.hi-ho.ne.jp

<http://kanekokazuo.hakurakuryo.org/>

2020年 2月4日 第1153号



3月定例議会の日程は

3月定例議会の日程は2月14日から3月13日の間で開催されます。



金子議員の一般質問から

金子かずお議員は「福祉の充実と充実と住みよい町づくりをめざして」議会から地域からの声が活かされる政治を求めて活動を進めてきています。

議会では、毎回にわたり一般質問を行っています。また、文教福祉委員会に所属し、福祉・医療・教育に関して質疑を行っています。今回の新社会「つくば版」の掲載は2019年9月の一般質問で、質問内容は金子議員が設置を求めてきた「つくば市児童発達支援センター」についてであります。



議会報告・一般質問から

児童発達支援センターについて①

質問・金子かずお議員

つくば市福祉支援センターでは、心身の発達を促す親と子の児童発達支援事業が行われております。

療育の狙いは、母子通園で情緒の安定を図る感覚、運動機能の力を育てる、日常生活習慣や自立への基礎づくりをする、対人関係の発達を促すとしています。近年の法改正により、市内には民間の事業者が多く存在し、対象年齢や利用サービス等の違いが見られます。つくば市は児童発達支援センター構想及び事業について検討に着手していますが、その進捗について伺いたい。

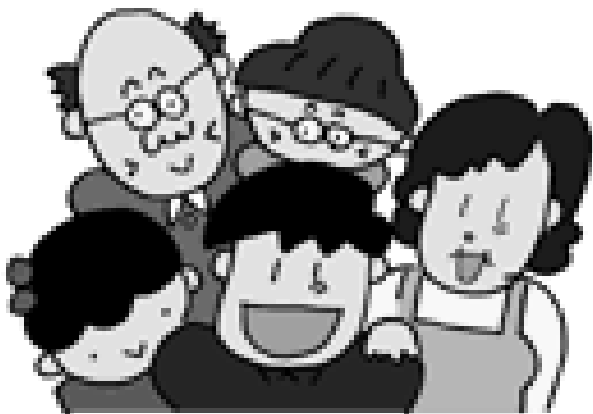
答弁・保健福祉部長

児童発達支援センターは、発達に遅れのある子などに日常生活の基本動作の指導などを行うものであり、厚生労働省の指針において児童発達支援センターを各市町村に少なくとも1カ所以上設置することが求められているものです。

昨年度から、外部の有識者や障害者団体関係者を交えた、あり方に関する検討会を5回開催し、本年7月に基本理念、具体的機能や設置場所等の提言がまとめられました。現在提言の内容

に沿って事業内容等を検討しているところであり、切れ目のない支援体制を整備していきます。

また、児童発達支援センターの設置には時間を要しますが、障害児相談支援事業等については来年度から順次実施していく予定です。



質問・金子かずお議員

児童発達支援センターについてであります。この施設は全国各地で設置を求められているわけで、つくば市もその中に入っているわけでありましてけれども、そういう状況でつくっていくということでもあります。

先ほどの答弁では、施設をつくっていく、そういう状況の中で、現在就学前の児童に対する療育が行われている福祉支援センターさくら、福祉支援センターとよさと、福祉支援センターくさぎで児童発達支援事業が行われているわけでありましてけれども、その子供たちがこの施設を利用できるかどうかは時間の問題もあるのかもしれないけれども、ずっとここで行われてきたということで、現況を確

認するために幾つか質問をしていきたいと思えます。

先ほどお聞きをしましたけれども、三つのセンターでの児童発達支援事業についてお尋ねしたいなと思えます。今行われている事業と、大きく分けると二通りあるのではないかと思うのですけれども、その辺について、実態としてどのような形になって行われているのかをお尋ねしたい。

答弁・保健福祉部長

つくば市福祉支援センターさくら、とよさと、くさぎでは、心身の発達を促す親と子で通う児童発達支援事業を行っており、言葉やコミュニケーション、運動などで、発達の遅れが気になる就学前の児童に対し療育を行っております。また、その、今申し上げた児童発達支援事業のほか、身体障害者、知的障害者の日中の通所施設として地域活動支援サービス事業を実施しております。（次号に続く）

2020年新年会を開く

差別や人権問題などに取り組む市民運動のネットワーク500、1人でもはかれる労働組合の茨城ユニオン、さらに東日本 NTT 関連合同労働組合茨城支部による2020年合同の新年会・旗開きが土浦市内で開催された。

2020年は総選挙も予想されます。東海第二原発再稼働阻止の戦いをはじめとする課題が山積しています。市民と野党が協力し、平和・環境・人権・福祉の戦いで、現政権を過半数割れに追い込み、政権交代を実現させましょう。